



中間テストが終了しました。1年生にとっては高校に入学してから初めての定期テストでしたが、良いスタートを切ることができたでしょうか。6月初旬は桜丘祭で忙しかったと思いますが、2年生は進路決定への意識を高め、3年生は進学・就職といった現実的な進路決定に向けて行動に移していくことが大切です。

1 2022年度入試に向けて

5月20日(木)の夜に3年生保護者を対象に「進路説明会」を実施しました。その中で、ここ数年の本校卒業生の進路先や、入試方式の特徴、進学にかかる費用についての説明をしました。入試方式としては、多くの生徒が「総合型選抜」や「学校推薦型選抜(指定校または公募制)」を受験しています。

では、それぞれの入試方式はどのようなものなのでしょうか？

(1) 入試方式について

大学入試には大きく3種類、「一般選抜(大学入学共通テスト利用選抜を含む)」・「学校推薦型選抜」・「総合型選抜」があります。

2020年度から文部科学省は、書類や面接のみで選考していた従来の総合型選抜(旧AO入試)・推薦入試に学力評価を義務付け、名称もそれぞれ以下のように変更になりました。

- 「総合型選抜(旧AO入試)」→「総合型選抜」
- 「推薦入試」→「学校推薦型選抜」
- 「一般入試」→「一般選抜」

また、2020年度入試まで31年続いた「大学入試センター試験」の出題形式等を見直し、「大学入学共通テスト」を新たに導入しました。

(2) それぞれの入試方式の特徴について

ア「一般選抜(旧一般入試)」

国公立大学は1月に行われる大学入学共通テストと、2～3月に行われる各大学個別の試験によって合否が決まります。私立大学の一般入試は国公立大学と異なり、何校でも受験できます。受験生のニーズに応じて、多種多様な入試を用意しているところが私立大学の特徴です。

試験日についても、受験者が受験日を自由に選択できる「試験日自由選択」、全学部や複数学部の入試が同一日に共通の問題で行われる「全学部日程」、大学外に設置された試験会場で行われる「地方入試」(静岡県内で受験できる大学は多い)、入試で成績上位に入ると授業料などが減免される「奨学生(給費生)入試」などがあります。なお、この奨学生入試は非常に難関で、競争率も高いということを感じなければなりません。

イ「学校推薦型選抜(旧推薦入試)」

一般選抜と並ぶ大学入試の柱の一つです。

一般選抜との一番大きな違いは、在籍高校の校長の推薦を受け出願する、という点です。出願にあたっては、「調査書の学習成績の状況○以上」といった出願条件が設定されている場合もあり、誰もが出願できる入試というわけではありません。

学校推薦型選抜は、様々なタイプの選抜がありますが、大きく分けて「公募制」と「指定校制」の2タイプに分かれます。「公募制」は、大学の出願条件をクリアし、在籍高校の校長の推薦があれば受験できる選抜です。一方の「指定校制」は大学が指定した高校の生徒を対象とする選抜ですが、私立大学が中心となっており、国公立大学ではほとんど行われていません。「指定校制」は自分の在籍する学校が、指定校になっていなければ受験できません。

いずれも校長が推薦する制度です。欠席、遅刻、早退の多い生徒や、成績不振の生徒、社会的規範に反する生徒は推薦対象になりません。

ウ「総合型選抜(旧AO入試)」

受験生の個性や適性、複数回行われる面接や専門的な内容で作成する論文などが合否の判断基準となります。本人が学ぶことで解決したい課題と希望進学先の教育方針が一致すれば、合格のチャンスが広がります。

2 3年生へ

最終学年になり、2か月が経ちました。部活動によっては公式戦や発表会等を終え、気持ちも新たに切り替えて勉学に励むべき時期です。本格的に計画を立て、受験体制に入らなければなりません。心がけてほしいポイントを下に挙げておきます。共通することは「宮東生として当たり前の、きちんとした高校生活を送ること」です。自己管理（遅刻・欠席をしないなど）の徹底、マナー順守、授業を大切に、などを実践することです。

【進学希望者は】

- ・志を高く持つ。（安易な妥協をしない）志望校について徹底的に調べ、専門分野の読書をする。
- ・委員会、行事、課外活動のリーダーとして自ら動く。
- ・講習、模試を受け、活用することで計画的に学習に励む。
- ・平日講習、土曜講習受講者は積極的に補講を活用する。

【就職希望者は】

- ・基本的な一般教養を多く身に付ける。（一般教養問題集の活用）
- ・基本的生活習慣を確立し、卒業後社会人として通用する態度を身に付ける。
- ・コミュニケーション能力を向上させる。
（挨拶、身だしなみ、表情、声の出し方、受け答え、言葉遣いなど）



3 1・2年生へ

高校受験とは全く違い、進路選択の幅が広がるのが高校の進路です。入試改革もあり、この1・2年で大きく変化しています。膨大な進路に対して最適な選択をしたいものです。また、高校3年間の成績が受験校や就職先に提出されます。つまり、毎日の学校生活の全てが進路選択に関わっていると言っても過言ではありません。

まだ先の話だ・・・と油断しては手遅れになります。目の前の「楽」に流されず、毎日の学校生活を充実したものにするべく、授業や部活動、学校行事に積極的に参加し努力しましょう。

心がけてほしいポイントを下に挙げておきます。

- ① 進路選択についての準備を行い、情報収集をすべて自分で行う。
- ② 家庭で進路について相談をする。
- ③ 欠席、遅刻、早退をしない。（健康管理は自己管理能力）
- ④ 毎日の授業に集中し、予習復習を欠かさない。家庭学習時間は学年+1時間が目安。
- ⑤ 小テストは常に満点を目指して勉強する。
- ⑥ 先生方のアドバイスに耳を傾ける素直さを持つ。



4 保護者の皆様へ

御家庭での保護者の関心が進路実現に影響を与えるということはよくあります。お子様と一緒に進路について話す時間を持ったり資料を読んだりして、考えや情報を共有していただきたいと思います。また、機会がありましたら、オープンキャンパスや学校説明会にも一緒に出掛け、アドバイスをお願い致します。なお、過保護、過干渉はお子様の可能性を狭め、苦しめることになるので御注意ください。

また、高校生が自分の夢を追う生活を送るためには、心身への十分な「エネルギー」が必要不可欠です。集中して学習に取り組める環境づくりや栄養バランスがとれた食事の提供などの生活面でのサポートはもちろんのこと、時事問題や社会の動きなどについて、知的な話題を提供すると、お子様の学習によりきっかけとなるようです。

1 学期の進路行事

3年生	2年生	1年生
6月 26日進研模試・就職模試	6月 進路ガイダンス	6月 進路ガイダンス
7月 26日夏季講習	12日土曜講習開始	26日進研模試
	26日進研模試	
	7月 26日夏季講習	7月 26日夏季講習